

飯能市立博物館で10月17日（日）から 特別展「飯能縄市 ～近世の市と市街地の発展～」開催

飯能市立博物館は、10月17日（日）から12月12日（日）まで特別展「飯能縄市 ～近世の市と市街地の発展～」を開催します。

「飯能縄市 ～近世の市と市街地の発展～」

<https://www.city.hanno.lg.jp/article/detail/5536/>



「飯能縄市 ～近世の市と市街地の発展～」は、飯能の中心市街地の歴史を振り返ることにより、飯能の町の魅力を再発見していただくことを目的としています。

飯能の市街地の起源は、1700年代中頃に現在の大通りで開かれた定期市「飯能縄市」に遡ります。「縄市」といわれたのは、縄やむしろ筥の取引から始まったからといわれています。

「飯能縄市」は月6回開かれ、その日は近隣から商人や村に住んでいる人たちが集まり賑わっていました。しかし、江戸時代の飯能縄市の具体的な姿はよく分かっていません。

そこで、群馬県高崎市の室田や埼玉県小川町の小川の「市」の様子を描いた絵図や、「市」の境に立てられる「市杭」（群馬県中之条町）などを展示することで、江戸時代の「市」の様子をイメージできるよう、また、明治44（1911）年12月に撮影された飯能の大通りをジオラマで再現し、今から110年前の飯能の町の賑やかな様子を展示します。

■開催概要■

期間 令和3年10月17日(日)～12月12日(日) ※休館日:月曜日、11月4日(木)、11月24日(水)

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

会場 飯能市立博物館特別展示室・展示ホール(入館無料)

この件に関するお問い合わせ

飯能市立博物館

電話/042-972-1414 FAX/042-972-1431 [E-mail/museum@city.hanno.lg.jp](mailto:museum@city.hanno.lg.jp)